

大学病院における静脈注射の実施状況等に関する調査結果概要

1 大学病院における静脈注射の実施状況

静脈注射の実施について、医師が実施している診療科は減少し、看護師が実施している診療科は増加している。

【側管注】

	平成18年3月	平成19年3月	平成19年10月	平成20年10月
全診療科数	1,925	2,143	2,114	2,212
原則医師が実施 (割合)	1,219 (63.3%)	1,365 (63.7%)	1,292 (61.1%)	989 (44.7%)
原則看護師が実施 (割合)	182 (9.5%)	218 (10.2%)	268 (12.7%)	448 (20.3%)

【翼状針】

	平成18年3月	平成19年3月	平成19年10月	平成20年10月
全診療科数	1,925	2,143	2,114	2,212
原則医師が実施 (割合)	1,352 (70.2%)	1,438 (67.1%)	1,351 (63.9%)	1,055 (47.7%)
原則看護師が実施 (割合)	133 (6.9%)	223 (10.4%)	251 (11.9%)	472 (21.3%)

【留置針】

	平成18年3月	平成19年3月	平成19年10月	平成20年10月
全診療科数	1,925	2,143	2,114	2,212
原則医師が実施 (割合)	1,678 (87.2%)	1,748 (81.6%)	1,726 (81.6%)	1,386 (62.7%)
原則看護師が実施 (割合)	40 (2.1%)	83 (3.9%)	91 (4.3%)	248 (11.2%)

注1) 側管注とは、輸液セットの側注管（ゴム管、Y字管、3方活栓等）から注射器を用いてワンショットで薬液を注入投与すること。

注2) 翼状針とは、固定のための翼とチューブがついた金属針。短時間持続注入等に使用する。

注3) 留置針とは、金属製の内針とプラスチック製の外針からなり、血管内に穿刺して血管の逆流を確認した後、内針を抜去して外針のみ留置する。長時間持続注入等に使用する。

2 大学病院において診療に従事する医科大学院生の状況

診療に従事する大学院生のうち、雇用関係のない大学院生の割合は、減少している。

【雇用関係のない大学院生の状況】

	平成18年3月	平成19年3月	平成19年10月	平成20年10月
診療に従事する 大学院生	8,723人	8,868人	8,540人	8,360人
うち、雇用関係の ない大学院生	6,131人	5,747人	5,137人	3,757人
割合	70.3%	64.8%	60.2%	44.9%

3 保険加入学生数等

雇用関係のない大学院生のうち、保険加入割合は増加している。

【雇用関係のない大学院生の保険加入者の状況】

	平成18年3月	平成19年3月	平成19年10月	平成20年10月
雇用関係のない 大学院生数	6,131人	5,747人	5,137人	3,757人
保険加入者数	3,495人	3,898人	3,714人	3,501人
未加入者数	2,636人	1,849人	1,423人	256人
加入割合	57.0%	67.8%	72.3%	93.2%